

園長だより



みどりっこ



幼保連携型認定こども園

No.6

宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園 園長 久島 孝昭

R1. 5. 24

18日(土)から20日(月)未明にかけて宮崎地方では激しい雨に見舞われました。その後、この激しい雨は東に移動していきました。ほっとしていたら、21日(火)の朝、幼稚園部の登降園システム「れんらくアプリ」が突然使えなくなりました。本園の管理用パソコンもアプリが開かず、保護者の皆さんには手書きでの対応をお願いすることになり、ご迷惑をおかけしました。この不具合は午前中に復旧し、管理会社からのお詫びがアプリに掲載されましたが、原因はこの激しい雨でした。管理会社のシステムが不具合をおこし、このシステムを採用している本園を含む全国の事業所が影響を受けたようです。

情報技術が発達して、日常生活が便利になってきましたが、逆に自分たちが住んでいる所とは全く関係ない所での出来事で、思わぬ影響が出ることもあるのだなあ、と今回思いました。

○ 感染症に注意しましょう。

最近、天候が安定しません。晴れると暑く、曇りや雨だと肌寒かったり、蒸し暑かったり。子どもたちの健康状態を保つのが難しいですね。今月半ばから保育園部では今月中頃から手足口病やヘルパンギーナに感染して休む子どもがいます。県内では10日(金)に手足口病が流行警報レベルを超えたと県から発表があり、園でも注意していましたが、0歳児、1歳児の子どもが感染しています。

これらの感染症は、目や鼻、のどの粘膜にウイルスが付着して感染するので、小まめな手洗いが予防になります。外出後やトイレの後は、せっけんと流水でしっかりと手洗いするようにしましょう。

- 手足口病……手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる病気。おしりやひざにできることもある。乳幼児のあいだで流行し、以前かかったことのある子どもでも再度うつることがある。微熱程度が多く、手足の発疹はほとんど痛まないが、口の中は痛くて食べられなくなることもあるため、薄味でのごごしの良いものを与えるとよい。
- ヘルパンギーナ……乳幼児のあいだでおもに夏に流行し、手足口病と同様に夏風邪とも言われ、どちらもエンテロウイルスによる病気。38度以上の高熱が数日続く。のどの奥に小さな水ぶくれができて、痛くて食べられなくなる。重症化すると水分もとれず脱水症になることもある。
- アデノウイルス感染症……いわゆる風邪で、扁桃腺が腫れたり胃腸炎などの症状が出る。ウイルスの種類が多く、咽頭結膜炎(プール熱)、流行性角結膜炎(はやり目)もその1つ。

○ 本年度1回目の「チャイルドルーム」を実施しました。

22日(水)の10時半から本年度1回目の「チャイルドルーム」を開催しました。31組の未就園の親子の参加を得ました。

せっかく多くの親子が参加くださいますので、本年度は、私の子育てに関する話もさせていただくこととしました。今回は、昨年度、本紙でも紹介しました宮崎日日新聞に連載された「足の健康」について、内容を再構成して話をさせていただきました。

その後、親子でのふれ合い遊びや読み聞かせを行いました。参加された保護者の皆さんと子どもたちは、はじめこそ緊張しているように見えてましたが、徐々に表情も柔らかく、笑顔も見えるようになってきました。



ふれ合い遊びは、家庭でも親子で簡単にできるものでしたので、ぜひ、家庭でもやってほしいなど、思いました。

終了後には、希望者を対象に本園についての説明や園舎内見学なども行いました。この企画は年間6回を予定しており、本園の教育・保育活動の状況や園の様子を理解していただく上で、よい機会になると思います。

私の子育ての話は、「足の健康」についての資料を作成し、それに基づいて話をさせていただきました。関心のある方がいらっしゃいましたら、資料を提供しますので、お知らせください。少しでも保護者の皆さんの子育ての参考にしていただけたら幸いです。

○ 登降園時に子どもと一緒に歩くことの意味

車で子どもさんを送迎される幼稚園部の保護者の皆さんには、F駐車場またはG駐車場を利用いただき、そこから子どもさんと歩いて園庭西側の門から出入りしていただいています。

「朝や夕方の忙しい時間帯に、なんで遠回りしなければいけないのか。東側玄関が近いじゃないか」と思っておられる保護者もいらっしゃると思います。理由はいくつかありますが、1番の理由は子どもの飛び出し防止や不審者の侵入防止等、安全確保のためです。そのため、玄関は普段は施錠しており、利用は雨天時や子どもさんの体調不良でお迎えに来られる場合などに限らせていただいています。

2つ目は、私の考えですが、この時間を親子の触れ合いに使ってほしいということです。長い子どもは朝8時頃から午後6時頃まで親と離れて過ごします。そこで、車での送迎中を含め、駐車場と園の間を歩く時間を親子の触れ合い、会話の場としてほしいのです。手をつなぎ、互いに手のぬくもりを感じながら「今日はどうなことをして遊ぶかな」とか「今日はどうなことが楽しかったかな」など会話をさせていただきたいのです。コミュニケーションを通して、互いを理解し合い信頼関係を強めていただきたいのです。保護者の皆さんが仕事でお忙しいのは分かりますが、この時間を保護者の皆さんにとっての「ほっとタイム」にさせていただきたいのです。子どもが親と手をつないで歩く期間はそう長くはありません。せいぜい小学校中学年頃まででしょうか。ご自分を振り返ってみてください。いくつくらいまで親と手をつないでいましたか？ 今という時間を大切に過ごし、親子共通の思い出として残してほしいと思っています。

3つ目は、脳の活性化です。11日の教育講演会で、講師の林先生が話されましたが、朝、体を動かすことで脳が活性化するそうです。抱っこされてくると、運動刺激が脳に与えられることがなく、登園してもしばらくは、ぼーっとしていることが考えられます。登園の際は、子どもの脳をしっかりと目覚めさせるためにも、ぜひ駐車場から一緒に歩いて来てください。

朝はバタバタしていて時間的にゆとりがない。夕方は仕事で疲れていて体力的にしんどい。今が大変なのはよく分かりますが、子育ての期間というもの後で振り返ってみると、意外と短いのです。今、ふんばってください。これが、これからのよりよい親子関係構築につながると思います。



○ 親子歓迎遠足

明日25日(土)は、親子歓迎遠足です。9時50分に本園の北側にある中央公園芝生広場に集合してください。天気は良さそうですが、気温が高くなりそうですので、帽子や水筒の準備をお忘れなく！

○ 園庭西側のスライドドアを施錠します。

20日(月)から園庭西側のスライドドアを防犯のため午前10時から午後2時まで施錠しています。幼稚園部の保護者で、この時間帯に子どもさんを迎えに来るなどされる場合は、東側玄関をご利用ください。